

インマヌエル中目黒キリスト教会

2016年6月26日聖日礼拝

上半期感謝聖餐式礼拝

「赦しの騒音、十字架を想う」

創世記

44章1節-34節

河村従彦牧師

聖書朗読 旧約聖書

創世記

44章1節～34節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています
第二版の聖書は 75 ページ
第三版の聖書は 82 ページ

- 1 さて、ヨセフは家の管理者に命じて言った。「あの人々の袋を彼らに運べるだけの食糧で満たし、おのおのの銀を彼らの袋の口に入れておけ。
- 2 また、私の杯、あの銀の杯を一番年下の者の袋の口に、穀物の代金といっしょに入れておけ。」彼はヨセフの言いつけどおりにした。
- 3 明け方、人々はろばといっしょに送り出された。
- 4 彼らが町を出てまだ遠くへ行かないうちに、ヨセフは家の管理者に言った。

「さあ、あの人々のあとを追え。追いついたら彼らに、『なぜ、あなたがたは悪をもって善に報いるのか。』

5 これは、私の主人が、これで飲み、また、これでいつもまじないをしておられるのではないか。あなたがたのしたことは悪らつだ』と言うのだ。」

6 彼は彼らに追いついて、このことばを彼らに告げた。

7 すると、彼らは言った。「あなたさまは、なぜそのようなことをおっしゃるのですか。しもべどもがそんなことをするなど

とは、とんでもないことです。

8 私たちが、袋の口から見つけた銀でさえ、カナン¹の地からあなたのもとへ返しに来たではありませんか。どうしてあなたのご主人の家から銀や金を盗んだりいたしましたしょう。

9 しもべども²のうちのだれからでも、それが見つかった者は殺してください。そして私たちもまた、ご主人の奴隷となりましょう。」

10 彼は言った。「今度も、あなたがたの言うことはもっともだが、それが見つ

かった者は、私の奴隷となり、他の者は無罪としよう。」

- 11 そこで、彼らは急いで自分の袋を地に降ろし、おのおのその袋を開いた。
- 12 彼は年長の者から調べ始めて年下の者で終わった。ところがその杯はベニヤミンの袋から見つかった。
- 13 そこで彼らは着物を引き裂き、おのおのろばに荷を負わせて町に引き返した。
- 14 ユダと兄弟たちがヨセフの家に入ってしまったとき、ヨセフはまだそこにいた。彼らはヨセフの前で顔を地に伏せた。

15 ヨセフは彼らに言った。「あなたがたのしたこのしわざは、何だ。私のような者はまじないをすることを知らなかったのか。」

16 ユダが答えた。「私たちはあなたさまに何を申せましょう。何の申し開きができましょう。また何と言って弁解することができましょう。神がしもべどもの咎をあばかれたのです。今このとおり、私たちも、そして杯を持っているのを見つけた者も、あなたさまの奴隷となりましょう。」

17 しかし、ヨセフは言った。「そんなことはとんでもないことだ。杯を持っているのを見つけた者だけが、私の奴隷となればよい。ほかのあなたがたは安心して父のもとへ帰るがよい。」

18 すると、ユダが彼に近づいて言った。「あなたさま。どうかあなたのしもべの申し上げることに耳を貸してください。そして、どうかしもべを激しくお怒りにならないでください。あなたはパロのようなお方なのですから。」

19 あなたさまは、しもべどもに、あなたがたに父や弟があるかとお尋ねになりました。

20 それで、私たちはあなたさまに、『私たちには年老いた父と、年寄り子の末の弟がおります。そしてその兄は死にました。彼だけがその母に残されたので、父は彼を愛しています』と申し上げました。

21 するとあなたは、しもべどもに、『彼を私のところに連れて来い。私はこの目で彼を見たい』と言われました。

22 それで、私たちはあなたさまに、『その子は父親と離れることはできません。父親と離れたら、父親は死ぬでしょう』と申し上げました。

23 しかし、あなたはしもべどもに言われました。『末の弟といっしょに下って来なければ、二度とあなたがたは私の顔を見ることはできない。』

24 それで、私たちは、あなたのしもべである私の父のもとに帰ったとき、父にあなたさまのおことばを伝えました。

- 25 それから私たちの父が、『また行って、われわれのために少し食糧を買って来てくれ』と言ったので、
- 26 私たちは、『私たちは下って行くことはできません。もし、末の弟が私たちといっしょなら、私たちは下って行きます。というのは、末の弟といっしょでなければあの方のお顔を見ることはできないのです』と答えました。
- 27 すると、あなたのしもべである私の父が言いました。『あなたがたも知っているように、私の妻はふたりの子を産んだ。

28 そしてひとりは私のところから出て行ったきりだ。確かに裂き殺されてしまったのだ、と私は言った。そして、それ以来、今まで私は彼を見ない。

29 あなたがたがこの子をも私から取ってしまったって、この子にわざわざ起こるなら、あなたがたは、しらが頭の私を、苦しみながらよみに下らせることになるのだ。』

30 私が今、あなたのしもべである私の父のもとへ帰ったとき、あの子が私たちといっしょにいなかったら、父のいのちは

彼のいのちにかかっているのですから、
31 あの子がいなのを見たら、父は死んでしまおうでしょう。そして、しもべどもが、あなたのしもべであるしらが頭の私たちの父を、悲しみながら、よみに下らせることになります。

32 というのは、このしもべは私の父に、
『もし私があの子をあなたのところに連れ戻さなかったら、私は永久にあなたに対して罪ある者となります』と言って、あの子の保証をしているのです。

33 ですから、どうか今、このしもべを、
あの子の代わりに、あなたさまの奴隷と
してとどめ、あの子を兄弟たちと帰らせ
てください。

34 あの子が私といっしょでなくて、どう
して私は父のところへ帰れましょう。私
の父に起こるわざわざを見たくありませ
ん。」

説教

上半期感謝聖餐式礼拝

「赦しの騒音、十字架を想う」

創世記 44章 1節-34節

河村従彦牧師

ヨセフの少年・青年時代 ・赦しへの動揺

A. 再会面接 ~ 3回

1. 第1回 42:6 ~ 26

→カナンに戻る 42:27 ~

2. 第2回 43:15 ~ 44:3

→帰途につき、途中で

引き返す 44:4 ~ 13

3. 第3回 44:14 ~ 45:15

→素性を明かす

B. ヨセフの対応

1. 突き放す

2. 一見意地の悪い対応をする

3. 恐怖を抱かせるような対応

4. 意図的な不公平というあり得ない親切をする

5. 自分を抑えられなくなって涙を流す

42:24、43:30、45:2

C. このやり取りから学ぶこと

1. 赦しには涙がある

2. 赦しは重い、簡単ではない

・人が赦そうとする時の騒音

A. 赦しの実態

1. 赦しは不合理・不条理

～ どう考えてもおかしいこと

2. 赦しは複雑なプロセスを要する

3. 赦しはわたしという存在の 根本の部分と関係

4. 赦しは神さまの導かれるプロ セスであり、時間が必要

B. 揺らぎの意味

1. 自分がだれかを赦したプロセス
2. 信仰の成長との関わり

C. 友に寄りそうスタンス

・ 神さまが赦してくださる時
の騒音

A. ヒントになる人物、ユダ
ヨセフとのやりとりで周囲に
対する思いやり、父を擁護
44:33 「あの子の代わりに」

B. ゲッセマネの祈り ~ 赦しへの 胎動

1. 赦しに至る苦悩

~ 取り除いてください

2. みこころを行ってください

・恵みに生きる

A.ただ一つ確かなこと

～ 主の赦しはどこまでも豊か

1.やり直しのきかないことは、

この世界にはない

2.十字架「父よ。彼らをお赦し

ください」

3.赦しとは大きな声で言えない

ようなもの

B. 赦しを軸にして生きる
～ 赦し赦され

C. 赦されていることを知って
いても赦すことは難しい
恵みの世界
～ 律する方向ではなく、
緩める方向

D. 赦すことは赦そうと努力するとではない

赦せない自分を

赦さないことは.....

E. 神さまは赦しのプロセスに
わたしたちを導かれる

1. 赦すことができる立ち位置

2. 赦しの場面が備えられる

しめくくり(聖餐式を前に)

1. 自分は赦されました
でも.....

自分は赦せません

2. 恵みに生かされる希望の
告白として